

苗焼けにご注意を

LINE

であなたの手元に届くwebマガジン

おぼこ稲作情報

2021年4月
No.5

JA秋田おぼこ

ちよつとした

日差しに注意

播種後、寒気の流入によって、あまり気温が上がらない日が続いています。大型連休中も寒気の影響を受けて不安定な天気となる予報です。雨や曇りの日が多い予報ですが、たまに差し込む日差しにご注意ください。
無加温出芽（ベタ置き）の場合、また、被覆期間の方が多いため、外気温が寒いからといってハウスも締め切っていると、ちよつとした日差しでもハウス内温度は急激に上がってしまい、出芽中の苗が焼けてしまう（高温障害）可能性があります。

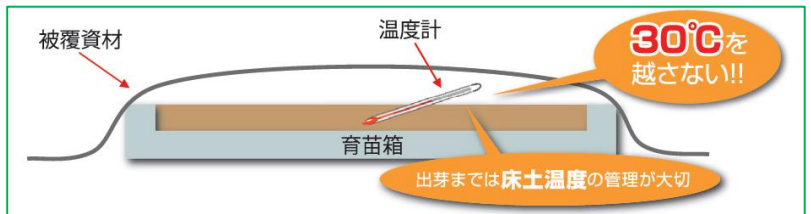
この時期は、トラクターで作業をしたりして、育苗ハウスの側にいない時間が多くなります。外出する際は、家に残っている家族に一言声がけをするなどして、突然の好天にも対応できるようにしていきましょう。

出芽時に床土温度が30度を超えてしまうと、苗焼けと、もみ枯れ細菌病の発病スイッチが入ってしまいます。育苗箱の床土内部に温度計を差し込み、30度を超えそうだったら、出芽前であっても、ハウスを開放し、ハウス内温度が上がりすぎないように管理をしてください。

保温に努めながら

床土温度
30度

換気を



今年の夏も暑いと予報されています。だからこそ、今から準備してください。そう「ケイ酸」です。昨年の曇天からの高温登熟でも、ケイ酸をしっかりと散布していた人は収量と品質が例年通りに取れた「ケイ酸のおかげかな」と話していません。効果をj得るには、撒かなければなりません。

今年の夏も暑い！今から備えを

根活するべ



LINE公式アカウント

「@ja-obako」で検索

稲作情報発信中！



基肥投入量 40kg/10a 以上